

人の可能性を照らせ。



2025年2月3日
株式会社 QD レーザ

東京都写真美術館「恵比寿映像祭 2025」で、 鑑賞サポートとして RETISSA ON HAND をご利用いただけます

東京都写真美術館(渋谷区恵比寿)で開催の「恵比寿映像祭2025」では、乳幼児から高齢者まで、障害のある人もない人も、海外にルーツをもつ人も、だれもが楽しめる恵比寿映像祭を目指し、TOP ボランティアによる鑑賞サポートを実施します。鑑賞サポートでは、筆談、読み上げ、聴覚支援機器の貸出に加え、見えにくさのある参加者への鑑賞サポートとして、RETISSA ON HAND(レティッサ オン ハンド)の貸出を行います。

総合開館 30 周年記念 恵比寿映像祭 2025 Docs —これはイメージです—
<https://www.yebizo.com/jp/>

■会期

2025年1月31日(金)~2月16日(日)[15日間] 月曜休館
※コミッション・プロジェクト(3F 展示室)のみ 3月23日(日)まで

■開催場所

東京都写真美術館、恵比寿ガーデンプレイス各所、地域連携各所ほか

■時間

10:00-20:00(1月31日~2月15日/最終日16日は18:00まで)

■入場料

無料 ※一部のプログラム(上映など)は有料

■貸出日

TOP ボランティアによる鑑賞サポート

日 時:2月8日(土)・16日(日) 各日 13:30-17:30 (最終受付 17:00)

会 場:東京都写真美術館館内

利用料:無料

対 象:どなたでも ※日本語のみ

受 付:1F ロビー または 1F スタジオ

※事前申込不要/1回 30分程度/混み合う場合はお待ちいただくことがあります/作品解説、介助は行いません

そのほかに貸出を行うイベント等がある場合は、以下ページまたは SNS(X)等でお知らせします。

恵比寿映像祭2025における社会共生の取り組み・アクセシビリティ情報(東京都写真美術館)

<https://www.yebizo.com/accessibility>

[東京都写真美術館「X」](https://x.com/topmuseum)

<https://x.com/topmuseum>

■網膜投影による鑑賞のアクセシビリティ向上を目指して

QD レーザは、文化・芸術鑑賞のアクセシビリティ向上を目指し、劇場・美術館・博物館・動物園・水族館・図書館・スポーツ施設といった施設で、網膜投影機視覚支援機器を利用したイベントを実施しています。今後さまざまな文化・芸術施設において、網膜投影が見えにくさのある方にとっての鑑賞をサポートする新たな選択肢になることを目指しています。



【RETISSA ON HAND】

視力に影響されない網膜投影を手軽に利用できる手持ち型の視覚支援デバイス。
遠近あらゆるものの”見えにくさ”をなくし、日常をより良いものを目指しています。

- * 『RETISSA ON HAND』は医療機器ではなく、特定の疾患の治療や補助、視力補正を意図するものではありません。見え方には個人差があります。障がいのある部位・程度によっては映像の認識が難しい場合があります(網膜全体の機能が低下している場合など)。
- * 『RETISSA』『ON HAND』は株式会社 QD レーザの登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部
メール:vid-sales@qdlaser.com

以上